地域農業の未来を応援します!
福島県農地中間管理機構
キビタン©福島県

あぐりサポートニュース
～12市町村 復興再生への取組《南相馬市》～

第25号　令和8年11月

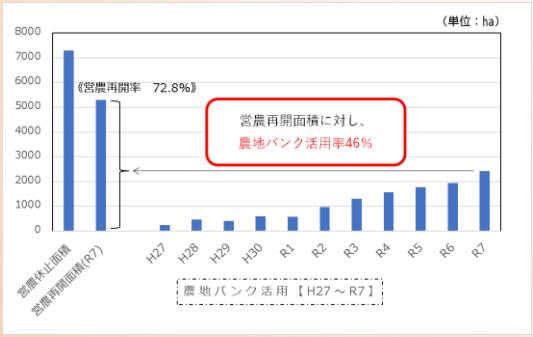
(公財)福島県農業振興公社

南相馬市における営農再開状況及び営農再開に向けた取組紹介

営農再開の状況

令和7年度末時点の南相馬市における営農再開状況は、営農休止面積7,289haに対して営農再開面積は5,307ha【南相馬市調べ】、営農再開率72.8%となりました。

南相馬市では、福島再生加速化交付金を活用した大規模ほ場整備事業を積極的に取り組み、ほ場整備の進捗に合わせ、関係機関と連携し農地バンクの活用を推進し、担い手への農地集積・集約化を図っています。



▲南相馬市の営農再開面積と農地バンク活用実績

農地バンクの活動状況

市町村コーディネーターは、関係機関と連携のうえ、農地バンクとの契約メリット等を説明し、バンク契約を推進しています。南相馬市（原町区・小高区）の農地バンクの活用状況は、平成27年度から令和7年度末で2,423haの契約面積となっています。令和7年度は、483haの契約締結の実績となりました。

特に、福島再生加速化交付金により農地整備事業を実施している地区においては、農地バンク契約をした場合に対象となる「農業経営高度化促進事業（農地賃貸借料一括前払費）」が活用されており、担い手は概ね10年間は農地の賃借料の支払を心配する必要が無く経営に打ち込むことができるため、将来の経営の安定と所得確保に役立っています。

市内の取組紹介

南相馬市内では、ほ場整備事業を契機とした従前地や一時利用指定地による契約、ほ場整備完了後の農地による再契約を中心として、農地バンクの活用が進められており、県内の市町村の中で、バンクの活用面積が最も大きい市です。

南相馬市内のほ場整備地区	地区数	(A)受益面積 (ha)	(B)機構転貸面積 (ha)	活用率 (B/A)
鹿島区	11（10）	1,176.4	977.0	83.0%
原町区	11（11）	1,196.3	1,118.0	93.5%
小高区	8（8）	578.8	628.4	108.6%
合計	30（29）	2,951.5	2,723.4	92.3%

※（　）内は、農地バンク活用地区数

▲南相馬市内のほ場整備地区における農地バンク実績（R8. 3. 31時点）

一方、ほ場整備事業実施地区以外では、従前の相対契約が残されているため、市町村コーディネーターが戸別訪問により契約内容の説明を行ったり、農用地利用改善団体（営農改善組合等）の総会・説明会へ出席し、事業内容を説明するなど、地域に寄り添ったきめ細かな支援を実施しています。

《市町村コーディネーター紹介(南相馬市担当：羽根田　智正》

今後も関係機関と連携し、南相馬市の営農基盤確立に向け、農地中間管理事業を推進し、地域農業の発展に向け取り組んで参りますので、よろしくお願いいたします。

